

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくましく生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



細野中だより

第20号 H25.10.23

発行者 甲斐昭児

☎ 23-3611

終業式と始業式 ～ 節目の日～

終業式で、節目の日にしてほしいことは「自分自身を振り返ること」と「行動を変えること」という話をしました。「一人が行動を変えると学校が変わる」とも伝えました。その後、2学期を迎えて…

立ち止まってのあいさつや足が床に着いた立腰など、意識してやろうという人が増えてきました。一人ひとりの変化が学校を変える力になります。



始業式では教頭先生も熱く語りました。テーマは「細野中のおもてなしを考える!」です。

- 今の3年生が1年生の時、来校された方々が「また来ようとは思えない」ひどい実態があったそうです。それを变えたいと、生徒総会で決まったのが上のスローガンです。
- 「こんな授業態度はいやだ!」の写真を見せながら…実際にどこかのクラスでよく見かける態度です。見られてもはずかしくない声の大きさや内容、姿勢を心がけましょう。
- 昨年もしたように、来校された高校の先生方に校内を見てもらいます。高校の先生方は勉強やスポーツで頑張っている生徒に自分の高校に来てほしいと願っています。そこで、細野中の生徒の素晴らしさをアピールできたらと考えていますが、一人でもいい加減な人がいると全体がマイナスの印象を持たれてしまいます。

◆ 退任式・任命式 (10.11) ◆

終業式に先立って旧役員の退任式と新役員の任命式を行いました。旧役員の言葉にはやり遂げた満足感が、新役員には力強い決意が感じられました。



新生徒会三役と専門委員長

- | | |
|-------------------|----------------|
| 【生徒会長】 中 蘭 尚樹(2年) | 【学習】 永野百喜乃(2年) |
| 【副会長】 長田 楓香(2年) | 【生活】 上村 直加(2年) |
| 野元 美佐(2年) | 【保体】 齋藤 俊介(2年) |
| 【書記・会計】 前原 千夏(1年) | 【給食】 富満 蓮(2年) |
| 中嶋 碧海(1年) | 【給食】 大木場 綾(2年) |

◆ 細野地区クリーン作戦 (10.12) ◆



小学生、保護者、地域の皆さんと通学路のゴミ拾いをしました。ゴミがある所には次々とゴミが「集まる」ものです。ゴミを捨てにくい環境づくりを普段から心がけたいものですね。ご協力ありがとうございました。

服のチカラ・プロジェクト



着なくなった子ども服を回収して、難民の方々など、世界中で服を本当に必要としている人々に届ける活動です。昨年度は全校で37校、今年度は約100校の小・中・高等学校が参加しています。

破れていない子ども服で、洗ってあるものを集めています。今月いっぱいです。たたんで持たせてください。ご協力をよろしくお願いします。



◆ 文化祭 (10.20) ◆



【国語弁論】「地球環境問題」本市 汐南(1A)、「自分を探して」中嶋 碧海(1B)、「家族」上村直加(2A)、「体罰って…」齋藤俊介(2B)、「人はなぜ生きているのか」久保田威人(3B)、「人生のメリーゴーランド」大木場 楓(3B)

【英語暗唱】「The Last manju」押領司 祥、富満 秀斗 東 大地(1B)、「The Red Ribbon」永野百喜乃(2A)、「Hello? Can Anyone Hear Me?」富満 蓮(2A)、「The Elves and the Shoemaker」中島 彩華(3A)、「Pinocchio」大木場 葵(3A)、「The little Mermaid」東 瑞季(3A)

変質者への対処法を実演しています。(3年)



【学年発表等】 1年「美しい町 小林」 2年「オリンピックについて」 3年「小林市未来予想図」、「フクノチカラ・プロジェクト」

合唱コンクールは3年生の2クラスが金賞、西諸音楽祭の出場権は僅差で3Aが獲得しました。

最後は吹奏楽部が迫力の演奏で締めくくりました。

【指揮者賞】 渡邊 麻由(3B)
【伴奏者賞】 川原 侑紀(3B)

《三行詩優秀作品》

本事業は、都市化、核家族化、少子化など、子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化する中、改めて、親子のコミュニケーションの大切さを社会全体で呼びかけていくため、文部科学省と日本PTA全国協議会との共催で行われています。

引退する3年生部員のソロもありました。



【生徒の部】 文化祭当日の投票で選ばれました。おめでとう!

「お母さんが お母さんでよかった ありがとう」 東 大地(1B)

「親がいるから、泣きつける。親がいるから、助けを求める。親の温もりがあるから、私はしあわせていられる。親がきらい、親なんていらなんて言っちゃダメ。自分自身にとって大切な大切な存在だから」 又木有香莉(2A)



「もういない あなたの 笑顔を思い出す 家族みんなで 愛していたよ」 前田 博登(3A)

保護者の作品は次号で紹介いたします。



先週の「思いやり指数」は90.6%でした。さらに伸びてほしいと思っています。やればできる!